

省エネ計算結果登録システムについて

- 省エネ適判に提出する計算結果の活用並びに省エネ性能ラベルの作成及び住宅トップランナー制度の報告円滑化を目的として、令和6年12月より、「**省エネ計算結果登録システム**」を公開・運用を開始。
- Ver3.7.0以降のWebプログラムから出力した計算結果を「省エネ計算結果登録システム」にアップロードすることで、省エネ適判の申請に必要な、**適判用と印字された計算結果PDFファイルの取得**が可能。
- あわせて、希望する場合には、当該計算結果PDFに対応した**省エネ性能ラベル（自己評価）の取得や住宅トップランナー制度の報告**※も可能。

※ 予め、当該年度の供給住戸数が対象住戸数を上回ると見込まれる事業者による活用を想定しています。



省エネ計算結果登録システムの
トップページ

参考資料 1

エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)

モデル建物法(単用途計算結果)

適判用

2401960000

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称		サンプル建物														
(2) 床面積	10,000.82	XML ID/再出力コード														
(3) 省エネ地域区分/年間日割地域区分	6地域 / A3区分	Qae7facb-5c8a-4564														
(4) モデル建物	事務所モデル	*LAA-LFKV-SZIQ-RKRR														
(5) 評価結果																
年間総合評価係数	【BPlm】	0.96														
一次エネルギー消費量	【BEIm】	0.99														
	【標準BEIm】	0.99														
空調暖房設備	【BEIm/AC】	1.01														
機械換気設備	【BEIm/V】	0.70														
照明設備	【BEIm/L】	0.91														
給湯設備	【BEIm/HW】	1.38														
昇降機	【BEIm/EV】	2.00														
太陽光発電		あり														
ユーグレネーション設備		あり														
(6) 判定		<table> <tr> <td>BPlm ≤ 1.00</td> <td>達成</td> <td>BEIm ≤ 1.00</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>BEIm > 0.80 (大規模基準)</td> <td>非達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>標準BEIm > 0.60</td> <td>非達成</td> </tr> </table>			BPlm ≤ 1.00	達成	BEIm ≤ 1.00	達成			BEIm > 0.80 (大規模基準)	非達成			標準BEIm > 0.60	非達成
BPlm ≤ 1.00	達成	BEIm ≤ 1.00	達成													
		BEIm > 0.80 (大規模基準)	非達成													
		標準BEIm > 0.60	非達成													

適判用と印字された計算結果
PDFファイルのイメージ

- Webプログラム（Ver.3.7.0～）を使用して、令和7年4月以降、所管行政庁等に省エネ適判の申請を行う場合は、計算結果PDFファイルを「省エネ計算結果登録システム」にアップロードして取得した、**適判用と印字された計算結果が原則として必要**となります。
- 「省エネ計算結果登録システム」は、**旧バージョンのWebプログラム（Ver.3.6.0）には対応していません。**旧バージョンのWebプログラムで計算結果PDFファイルを出力済みの場合は、「省エネ計算結果登録システム」にアップロードすることなく、当該計算結果PDFファイルをそのまま省エネ適判の申請に使うことができます。

参考資料 1

エネルギー消費性能計算プログラム(非住宅版)
モデル建物法(単用途計算結果)

適判用
2401960000

1. 計算結果及び評価結果

(1) 建築物の名称	サンプル建物			
(2) 床面積	10,000.82	XML ID/再出カコード		
(3) 省エネ地域区分/年間日射地域区分	6地域 / A3区分	0ae7facb-5c6a-4564		
(4) モデル建物	標準モデル	*LAA-LPKV-SZKQ-WGR		
(5) 評価結果				
年間エネルギー消費量	[BPlm]	0.96		
一次エネルギー消費量	[BEIm]	0.99		
空調暖房設備	[BEIm/AC]	1.01		
換気設備	[BEIm/V]	0.70		
給湯設備	[BEIm/H]	0.91		
給電設備	[BEIm/WH]	1.38		
給排水	[BEIm/DV]	2.00		
太陽光発電	[BEIm/GV]	あり		
コージェネレーション設備	あり			
(6) 判定	BPlm ≤ 1.00	達成	BEIm ≤ 1.00	達成
			BEIm > 0.80 (大規模基準)	非達成
			換湯BEIm > 0.60	非達成

適判用と印字された計算結果
PDFファイルのイメージ

省エネ計算結果登録システムの操作(1)

- 令和6年12月に公開されたWebプログラム（Ver3.7.0）では、計算結果表示画面の下部にある「PDFを出力する」の直下に、「PDF出力後、省エネ計算結果登録システムへ」のボタンが新設（住宅版のみ）。
- 「PDFを出力する」を押して計算結果をダウンロードするとともに、当該ボタンを押すことで、省エネ計算結果登録システムに誘導される。

①Webプログラム（Ver3.7.0）で計算結果PDFファイルをダウンロードし、「PDF出力後、省エネ計算結果登録システムへ」を押す

計算結果の確認

一次エネルギー消費量

内訳項目	設計一次	基準一次
暖房設備	13,935 MJ	13,383 MJ
冷房設備	6,036 MJ	5,634 MJ
換気設備	5,939 MJ	4,542 MJ
給湯設備	27,637 MJ	25,091 MJ
照明設備	10,855 MJ	10,763 MJ
その他の設備	21,241 MJ	21,241 MJ
食品設備の電気設備のうち基準消費分	--- MJ	--- MJ
コージェネレーション設備の発電量に係る給湯量	--- MJ	--- MJ
合計	85,643 MJ	80,653 MJ

外皮性能

外皮平均熱貫流率	0.87 W/m ² K
冷房期平均日射取得効率	2.8
暖房期平均日射取得効率	4.3

設計二次エネルギー消費量等（参考値）

消費電力量	5,562 kWh
設計二次エネルギー消費量	30,929 MJ
灯消費量	0 MJ
コージェネレーション設備の発電量に係るガス消費量の換算量	0 MJ
未配線負荷の設計一次エネルギー消費量相当量	427 MJ

発電量・売電量（参考値）

設備の種類	発電量	売電量
コージェネレーション	--- MJ	--- MJ
太陽光発電	--- MJ	--- MJ

一次エネルギー換算した値

設備の種類	発電量	売電量
コージェネレーション	--- MJ	--- MJ
太陽光発電	--- MJ	--- MJ

PDFを出力する

省エネ適判申請前は省エネ計算結果登録システムで登録してください！

PDF出力後、省エネ計算結果登録システムへ

（令和7年4月1日以降は、省エネ計算結果登録システムでの登録がないものは省エネ適判申請に使用できません）

※「PDF出力後、省エネ計算結果登録システムへ」のボタンは、Webプログラム住宅版のみに表示されます。非住宅版、共同住宅等の計算結果集計プログラムにはないため、省エネ計算結果登録システムのURL (<https://regist.lowenergy.jp/>) からアクセスして下さい。

②省エネ計算結果登録システムの「システム入口」を押す

省エネ計算結果登録システム Web program Registration system

システム入口

2025年4月から、建築物エネルギー消費性能適合性判定申請には本システムからダウンロードした省エネ適判申請用の計算結果が必要になります。

省エネ適合性判定

省エネ性能表示制度

住宅トップランナー制度

Webプログラム（Ver3.7.0）

④必要事項を入力する（非住宅の場合は、住宅種別、住宅トップランナーシステムのデータ登録は不要）

省エネ適判申請用計算結果PDFの作成

下記の必要な項目について入力してください。エネルギー消費性能計算プログラムで出力した計算書(計算結果 PDF)をアップロードすることで、省エネ診断申請用の計算書を作成することができます。

⑤計算結果PDFファイルをドラッグ＆ドロップ又は参照により、システム上にアップロード

4

⑥入力内容を確認する

アップロードするPDFファイルは適合判定に提出するための最終的な計算結果です。

入力内容の確認

入力内容及びアップロードされたファイル情報をご確認ください。
同じPDFファイルを複数回登録することができませんのでご注意ください。
「省エネ適判用PDF作成」ボタンをクリックするとデータが登録され、省エネ適判用PDFが作成されます。

計算プログラム区分1	非住宅
計算プログラム区分2	標準入力単一建築物
物件所在地	秋田県湯沢市
事業者名	aaa
住宅トップランナー制度	対象事業者ではない
評価書・ラベルをここで発行しますか?	希望しない

アップロードされたファイル情報

基本情報

計算プログラム区分	非住宅(標準入力法)
床面積の合計	10352.79㎡
地域の区分	6地域

一次エネルギー消費に関する事項

BPI	—
BEI	0.83
基準BEI	0.84

< 戻る

省エネ適判用PDF作成

⑦データ作成が完了次第、適判用と印字された計算結果PDFファイルをダウンロード可能

データ作成完了



✓ データの登録と適合判定用PDFの作成

✓ トップランナー制度への登録

✓ 評価書・ラベルの作成

完了

適合判定用PDF・評価書・ラベルをダウンロードいただけます。

適合判定用PDFはここで必ずダウンロードしてください。
終了するとダウンロードができなくなります。

ダウンロード

入力を終了する場合はタブを開けてください。

	質問	回答
1	事業者名には何を記載したらよいか。	建物の設計を行った建築士事務所などをご記入ください。（住宅トップランナー制度の報告にも活用されるものであるため、省エネ計算の代行事業者は記載しないようお願いします。）
2	住宅種別は何を選択すべきか。	住宅トップランナーの報告をする場合は、報告する住宅種別（建売戸建、注文戸建、賃貸アパート、分譲マンション）に応じて選択してください。 また、住宅トップランナーの報告を行わない場合は、該当すると思われる住宅種別（その他も選択可能）を選択してください。なお、判断がつかない場合は、その他で結構です。
3	着工予定年月が不明の場合の記載はどのようにしたらよいか。	省エネ適判に申請する際の着工予定日を踏まえて、着工予定年月のご記入をお願いいたします。
4	事業者名や着工予定年月は、省エネ適判の申請書と同じものを入力する必要があるのか。	同一であることが望ましいですが、困難な場合はその限りではありません。
5	事業者名や着工予定年月が変更した場合も、再度省エネ計算結果登録システムに計算結果PDFをアップロードする必要があるのか。	その必要はありません。 あくまで、計算結果を差し替える場合に、再度省エネ計算結果登録システムに計算結果PDFをアップロードいただくようお願いします。
6	整理番号とは何か。	整理番号は、差替え前の適判申請用計算書右上に押印されたスタンプ内に記載された番号になります。
7	住宅トップランナーのIDと連携キーはどのように発行することができるのか。	トップランナー報告システムにおいて発行することができます。以下のURLからご確認ください。 https://beta.trfilecheck.net
8	API連携は可能か。	可能となっています。詳細は省エネ計算結果登録システムのトップページ下部をご覧ください。
9	省エネ計算結果登録システムは、Webプログラム非住宅版や共同住宅等の計算結果集計プログラムにも対応しているのか。	対応しています。 ただし、「PDF出力後、省エネ計算結果登録システムへ」のボタンは、Webプログラム住宅版のみに表示され、非住宅版、共同住宅等の計算結果集計プログラムにはないため、省エネ計算結果登録システムのURLからアクセスして下さい。 (https://regist.lowenergy.jp/)
10	省エネ計算結果登録システムを試しに利用することは可能か。	試しに利用することで、省エネ適判に提出しない計算結果が登録されてしまうため、省エネ適判に提出する計算結果が確定したタイミングでご利用いただくようお願いいたします。